

機二機ヲ以テ嘉手納灣ノ敵艦ヲ攻撃シ巡洋艦二隻、大型輸送船五隻ヲ轟沈シ運送艦一隻ニ至近彈ヲ與ヘタリ

本攻撃ニ於テ特攻隊ハ初メテ体當リ攻撃ヲ行ヒ(第二〇振武隊)長谷川實大尉、同隊員山本英四少尉ノ二機(又ハ一般飛行部隊ナルモ戦況ノ重大ナルヲ自覺シ山本中尉以下七機ハ敢然体當リ攻撃を行ノ舉ニ出テ其ノ搭乗員ノ盡忠報國ノ真情ニ對シテハ軍司令官以下感戴大ナルモノアリタリ

一方戦力ノ整備進捗ニ依リ九洲ヨリ德ノ島ニ對スル兵力ノ推進ヲ促進セラレニ日夕二八機(主力ハ特攻隊)ハ知冠ヲ出發セルガ恰モ德ノ島空襲後ニ一四機到着シ彈痕ヲ隨ヒテ著陸セル爲七機ハ大破ヲ生ジタリ又三日午後第一攻撃隊ノ兵力ヲ合ハ三五機ハ知冠及万世ヨリ德ノ島又ハ喜界島ニ向ヒタルガ途中厚久島附近ヨリ德ノ島附近ニ巨砲ヲ於テ敵艦ノ攻撃ヲ受ケ自爆兵不時著一引返六行方不明一ヲ生シ德ノ島到着後更ニ二機二機ヲ生ジタリ

五軍ハ敵ノ九州ト德ノ島間及德ノ島ニ對スル 遮斷及制壓逐次強化セラレ我方攻撃兵力ノ途中損耗増大スルニ至レルヲ以テ特攻隊ノ中隊及航続力之ヲ許スモノハ途中中繼スルコトナク沖縄ニ直行シテ攻撃セシムル如クシ且德ノ島ノ利用不能トナル場合ヲ考慮シ直撃偵察七戰級以下ノ機種ノ増槽ニ急遽著手スル如クス

特攻飛行部隊ニ在リテモ中繼攻撃ノ状況許ス場合トシ直撃攻撃ヲ遂行スルヲ考慮不能ノモノハ直撃攻撃ハ德ノ島、喜界島ニ著陸スルヲ要ス

新機ノ採用日及四日並ニ知冠及萬世ノ機ヲ運用ス

知冠ヨリ九洲ヨリ三機直撃攻撃ヲ遂行スルヲ考慮不能ノモノハ直撃攻撃ハ德ノ島、喜界島ニ著陸スルヲ要ス

西軍 德ノ島ヨリ九洲ヨリ三機直撃攻撃ヲ遂行スルヲ考慮不能ノモノハ直撃攻撃ハ德ノ島、喜界島ニ著陸スルヲ要ス

戦果 一機海上 一機近彈

損害 一機未歸還

第四 第一次總攻撃

一、敵ハ四月一日沖繩本島(北)、(中)兩飛行場正面ヨリ上陸シ忽チ兩飛行場ヲ占領セリ、軍ハ敵トシテハ兩飛行場ヲ速カニ整備シ機動部隊ニ代ル陸上基地ヨリノ作戰協力ヲ行フベシト豫想シ之ガ制壓ノ爲重爆隊ノ飛行場攻撃ヲ準備セシムルトコトアリ

海軍ニ於テモ亦敵陸上飛行基地ノ整備ニ伴ヒ其ノ作戰遂行ヲ著ク難ナリトシ此ノ際全力ヲ擧ゲテ壺間ノ沖繩附近敵艦船攻撃ヲ行フトトオリ聯合艦隊ニ於テハ第六航空軍ヲ含メ總攻撃ヲ決行スル旨四月四日發令シ本攻撃ヲ菊水一統作戦ト呼稱セリ、又聯合艦隊ニ於テハ最後ノ水上部隊ノ作戰トシテ機動部隊以下ノ神戶海軍工廠ヲ行ハントシアリテ之ニ呼應スル第三十二軍ノ攻撃ヲ切リ、重爆隊ヲリタルガ航空總攻撃ノ時機亦大和ノ出陣ヲ基點トセルモノ如ク四月六日ト定メタリ

海軍ニ聯合艦隊ノ企圖ヲ察シ四月四日海軍總司令部ニ行ヒ機動部隊ヲ知照シ万世集結及之ヲ出陣準備ヲ促進スル等々第一攻撃隊團長及特攻兵力ノ徳ノ島、喜界島進軍實行ヲ又經テ海軍ニ打撃ヲ與フルヲ注意スル等々五日御座リ、特攻隊六機ヲ以テ沖繩直行薄暮攻撃ヲ實施ス

敵ヲ六日正午頃迄ニ九州及徳ノ島、喜界島ニ準備セル兵力左ノ如ク

特攻隊 一一三機

襲撃隊 一五機

制空戦闘隊 四八機

海軍ニ第五航空艦隊ト協定シ左ノ如ク第一次總攻撃實施計畫ヲ定ム

一、攻撃實施ハ六日一五三〇乃至一六三〇ノ間トス

二、襲撃目標ハ沖繩本島西側ノ艦船

三、襲撃ノ高及喜界島ノ兵力ハ本日基力ヲ攻撃時機ニ攻撃ス

海軍政務隊ノ進攻ヲ實施ス

四月六日豫定ノ如ク戦闘ヲ實施ス

特攻隊ハ其ノ出撃ニ方々更ニ故隊ヲ生ズルモノ相當アリテ九州(知覽、万世、都城(西))ヨリ攻撃ヲ實行セルモノ五四機ナリ

此ノ日徳ノ馬及喜界島ハ終日敵ノ制壓ヲ受ケ遂ニ出撃ノ機ヲ得ズ

戦闘隊ハ四一機ヲ以テ豫定ノ制空ヲ實施シ所々ニ於テ敵機ト交戦ス

攻撃成果ニ關シテハ司偵ノ偵察ヲ實施セルモ詳ニナシ得ズ本件ハ從來極力 成果確認機ヲ同行セシムル如ク各攻撃集團ニ要求セルモ元

當機其ノ他ノ關係ニ依リ悉ク如ク實施セラレザリ

五月五日及六日ノ偵察ニ依リ(北)、(中)飛行場西方敵上陸點附近ニハ軍需品多數集積セラレアルヲ認メ之ヲ殲滅セバ敵飛行基地整備ニ影響ヲ及

ボレ且上陸敵軍後方ヲ擾亂シ第三十二軍ノ戦闘ニモ間接ニ寄與スベキヲ以テ海軍ニ協議セルニ海軍モ亦同意セシヲ以テ六日後半夜

及上陸敵軍ハ引返ル攻撃五機ノ中二機未歸達キテ一方敵箇所ノ

攻撃ヲ自棄ス

六月六日ノ攻撃兵力少カリシト大和以下海軍水上部隊出撃ト呼應ス

ル爲ニ特別機ヲ機餘ノ兵力ノ攻撃ヲ命ジタリ

攻撃隊リ七日朝迄世界ヨリ特攻機三〇機、七日午後知覽ヨリ三〇機攻撃

機ヲ出撃セシメ知覽ヨリ出撃セルモノハ久島附近ノ天候不良ニシテ

及喜界島ヨリハ七日拂曉特攻機一機、喜界島ヨリハ七日早朝六機、

同日海軍九機ヲ以テ攻撃ヲ實施セリ

七日朝大和以下ノ海上遊撃部隊ハ沖縄ニ向ヒ出撃セルモ九州西南

方海面ニ於テ敵機部隊ノ艦載機ニ依リ遂ニ撃沈セララルニ至リ

第五 第二次總攻撃

國ニ配屬セラレタル特攻隊中九州ニ殘留シアリタル人員、飛行機
軍ニ轉屬セラレ其ノ十二機ヲ新田原ニ於テ第二次總攻撃ノ爲準備
得タリ

第三十二軍亦十二日陣前出撃ヲ實施スル旨ヲ通報シ來レリ

四 攻撃實施

1. 重爆隊

60F 及 110F 各四機計八機ヲ以テ十二日〇四〇〇前後神戶(北)、(中)兩飛行
場ヲ爆撃ス

且龍ノ得タル戦果(北)飛行場大炎一ヶ所(中)飛行場ニ於テ炎上四機
爆碎一機、爆發五ヶ所、火災一ヶ所ニシテ 110F ノ二機未歸還トナレ

2. 攻撃隊

知覽及万世ヨリ特攻隊七〇機、60F 四機ヲ以テ一四二〇乃至一五
〇ノ間沖繩本島附近ノ敵艦船ヲ攻撃ス

無敵機ヲ裝備セルモノノ突撃報告ヲ脱逃ヨリ我軍艦隊ハ機を捕獲

セルモノト判定セリ

3. 戦闘隊

ニ100F 一五機ヲ以テ敵機ノ誘出牽制ヲ行ヒタルモ敵ト遭遇セズ又別
ニ三式戦闘機ヲ加ヘ合計二三機ヲ以テ知覽附近制空及攻撃隊同行
掩護ヲ爲シタリ

第二次總攻撃後聯合艦隊ニ於テハ第三次航空總攻撃ヲ十五日以降ト
豫定セルヲ以テ軍ハ之ニ對スル準備ヲ爲スト其ノ間機ヲ見テ
對的ニ小兵力ノ攻撃ヲ實施スルコトトシ一五機ヲ以テ一四機ヲ以テ
幕攻撃ヲ實施ス又喜喜島ヲ第一攻撃隊員ニ對シテ機ヲ誘導シ
修理ヲ努メ十三日四機ヲ以テ一四機ヲ以テ一五機ヲ以テ一四機ヲ以テ

第六 第三次總攻撃

第三次總攻撃ハ天候不良ノ爲ニ一四日無期トナリ其後決定セラレタ

五八
五十六日拂曉特攻隊五〇機及〇三機ハ知覽及万世ヲ出發シ概ネ一〇

〇〇ヨリ沖繩附近敵艦船ヲ攻撃ス、特攻機ニ裝備セル無線ノ報告ニ依リ大部ノ特攻隊ハ攻撃ヲ實施セルモノト判定セリ

六戰團隊ハ三六機ヲ以テ奄美大島附近ニ亘ル進攻路上ヲ制空シ一部ハ敵機ト交戦ス

五十六日朝偵察ニ向ヒタル可偵一機ハ未歸還トナレリ
四第三次總攻撃ニ依リ天號作戰開始ニ方リ軍ノ保有セル特攻隊及當時配屬ヲ受ケタル特攻隊ハ其ノ殆ト全部ヲ使用シ剩ストコトニシテ

五九
九州方面陸上航空基地攻撃ハ三月末以來暫ク中絶シテ四月三日敵機動部隊ノ四月十五日ヨリ九州來襲ト共ニ再ビ沖繩作戰協力ノ狀況ヲ呈シ四月十七日太刀洗、鹿屋其ノ他ノ飛行場ハ爆撃ヲ蒙リ若干ノ損害アリ

太刀洗ハ爲展次攻撃ヲ受ケタル以テ根據地飛行場ヲ限リ庄ニ變更スル爲軍ハ飛行場ノ整備、通信網ノ準備ヲ行ヒアリシガ四月十八日同戰隊ハ限ノ庄ニ飛行場ヲ變換セリ然レドモ限ノ庄ハ重裝備夜間離陸位ニ戰隊長ノ指揮上最適ナラザリシヲ以テ同戰隊ハ攻撃ニ方リテハ熊本(60F)展開飛行場ヲ使用セリ

第七 第四次總攻撃

一第三次總攻撃後聯合艦隊ニ於テハ第四次總攻撃ヲ二十日ト豫定シ又聯合艦隊司令長官ハ十七日指揮下全軍ニ對シ「戰機ハ正ニ七分三分ノ線ト合ヒニ在リ、聯合艦隊ハ此ノ機ニ乘ジ指揮下一切ノ戦力ヲ決戦機ニ投入シ以テ天號作戰ヲ完遂セントス」ル旨ノ通電ヲ發シ各隊ニ奮勵ヲ要望スルトコロアリ

二敵機動部隊攻撃ハ毎回其ノ目的ヲ達成スルコト能ハザリシガ第四次總攻撃ニ於テハ五當兵力等ノ關係上海軍ハ敵機動部隊攻撃ニ

第五航空艦隊ト協定シ左ノ如ク第四次總攻撃計畫ヲ策定ス
ノ沖繩敵航空基地ノ制壓

總攻撃前夜重爆隊ヲ以テ沖繩(北)、(中)兩飛行場ヲ攻撃ス、第五航空
軍ノ輕爆隊ハ右重爆隊ノ攻撃約一時間前沖繩(北)飛行場ヲ攻撃ス
又第三攻撃集團ノ發意ニ依リ(中)ノ一式戰襲機三機(増槽)ヲ以
テ同夜二一〇〇沖繩(北)飛行場ヲ攻撃ス

2. 攻撃

特攻約四〇機ヲ以テ列島線西方ヲ航進薄暮沖繩附近敵艦船ヲ攻撃
ス、途中ノ誘導ハ(中)之ニ任ズ

3. 掩護

三式戰部隊ヲ以テ九州ヨリ喜界島附近迄ノ四式戰部隊ヲ以テ喜界
島南方ノ各地域ニ於ケル攻撃隊ノ前進ヲ掩護シ又四式戰機ヲ以テ
十機ノ喜界島ニ進進セシメ攻撃時期ニ於ケル攻撃隊ノ行動ヲ掩
護ス

4. 總攻撃ノ實施

二十日深夜豫定ニ基キ沖繩敵航空基地ノ攻撃ヲ實施ス
即チ(中)ノ一式戰三機ヲ以テ二十日二一〇〇頃沖繩(北)飛行場ヲ
重爆四機ヲ以テ(中)ノ一式戰三機ヲ以テ(中)飛行場ヲ攻撃ス、自
視戰果火災一四箇所、誘爆六箇所、炎上敵機三ヲ收メ、(中)ノ三
機ハ未歸還ニシテ其ノ戰果未詳ナリ、重爆隊ハ全機歸還セシモ一
機受弾片發飛行ニテ歸還セズ強行著陸大破セリ

第五航空軍ノ輕爆隊ハ同夜四機ヲ以テ新田原ヨリ出動シ内二機沖
繩(北)飛行場ヲ攻撃セルモ戰果詳ナラズ

二十一日未明海軍ハ第五航空艦隊一機ヲ二十一日二〇〇
ノ通報ヲ受領シ軍ハ已ムヲ得ズ攻撃準備ノ態勢ヲ以テ一日間待機
スルヲ以テ二十一日ハ(中)總攻撃前ノ沖繩敵航空基地ノ制壓ハ之ノ必
要トシ、(中)ノ一式戰三機ヲ以テ二十一日夜再々(中)ノ重爆四機ヲ以テ沖繩(北)、(中)飛

第五大總攻撃 二十八日 没前後ニ巨リ實施セリ 攻撃ハ機銃隊三六機ヲ以テ實施セリ 相當ノ成果ヲ收メタリ

本攻撃前即チ二十八日〇三〇頃 60ノ重爆三機ヲ以テ特種機(機)ヲ發揚シテ攻撃シ炎上七箇所ノ爆發一箇所ノ戰果ヲ認メ又攻撃機ノ前進ニ方リテハ戰闘機二八機ヲ以テ途中ノ掩護ヲ實施セリ

第五大總攻撃後二十八日夜 1107ノ四機ヲ以テ沖繩(機)飛行場攻撃ニ方テ上六箇所(内一ハ大火炎)ヲ生ゼシメタリ本攻撃時一機ヲ以テ三十二軍ニ對スル軍需品投下ヲ實施セリ又三十日遂接キハ機銃隊ヲ以テ誘導機誘導ノ下ニ夜間攻撃ヲ實施セリ

此ノ間 20ハ南九州各地ニ屢々來襲シ都城(西)ハ二十七日及二十八日ノ兩日爆撃ヲ受ケタルモ損害輕微ナリキ

第九 第六次總攻撃

五月一日 第三十二軍 五月五日 四月 期シテ攻勢ニ轉ル 報アリ而シテ機銃隊ノ之迄ノ論カヲ繼シ特ニ今回ノ攻勢移轉ノ點ヲ航

空部隊ニ對スル希望トシテ地上部隊ノ苦痛トシテ敵機隊對空部隊ノ攻撃並ニ海岸附近敵軍需品集積所ノ爆碎ヲ要求シ來リタリ

第三十二軍ノ駐劄ナル攻勢移轉ノ決心ニ接シ爲シ得ル限りノ戰術ヲ考ヘテ機銃隊ノ前進ニ方テ誘導機誘導ノ下ニ夜間攻撃ヲ實施スルニ決シ直チ

機銃隊ニ對シテ第三十二軍ノ要求スル機銃隊對空部隊ノ苦痛トシテ敵機隊對空部隊ノ攻撃並ニ海岸附近敵軍需品集積所ノ爆碎ヲ要求シ來リタリ

機銃隊ニ對シテ第三十二軍ノ要求スル機銃隊對空部隊ノ苦痛トシテ敵機隊對空部隊ノ攻撃並ニ海岸附近敵軍需品集積所ノ爆碎ヲ要求シ來リタリ

機銃隊ニ對シテ第三十二軍ノ要求スル機銃隊對空部隊ノ苦痛トシテ敵機隊對空部隊ノ攻撃並ニ海岸附近敵軍需品集積所ノ爆碎ヲ要求シ來リタリ

機察を得ルモ沖繩敵航空基地ノ存否ニ依リ壹聞ノ機動上空軍機
不可能ナルヲ以テ第三十二軍ノ要求スル海岸附近敵後方軍需品集積
所ヲ攻撃前夜重爆隊ヲ以テ爆撃スルニ止マラザルヲ得ザリキ

第六次爆撃隊實施要領ハ從來ト略同様ニテ只此ノ頃類々タル敵機
ノ南九州來襲ニ鑑ミ戰闘隊可動 全力ヲ知覺ニ集結シテ攻撃隊出發
時ノ掩護ニ遺憾ナカクセメタリ

又第三攻撃集團ハ其ノ特攻兵力ヲ擧ゲテ攻撃スル如クモル者編兵隊
不足セルヲ以テ66日選抜セル若干機ヲ攻撃兵力ニ加ヘタリ

攻撃時機ハ第三十二軍ノ攻勢移轉開始時機ト關聯セキヲ四日八時
頃トセリ

是時ニテ三日夜重爆隊ハ空中高眞ニ依リ知り得タル海岸方面敵軍需
品集積所ニ對シ爆撃ヲ實施シ四日拂曉ヨリ攻撃隊ニ離隊約五〇機
ハ知覺ヲ出發シ豫定ノ如ク總攻撃ヲ實施セリ戰果ハ豫定ノ如ク
能ハザリシ方相當ノ成果ヲ收メタルモノト認メタリ

第六次爆撃隊實施要領ハ此ノ日豫定期間ニ於テハ第六次爆撃隊實施要領
攻撃隊要領ニテ

第六次爆撃隊實施要領

一 全軍多大ノ期待ヲ懸ケタル第三十二軍ノ五月母艦ヨリノ攻勢移轉ハ
至五日夜中止セラルルハ至リ戰局挽回ノ希望ハ遂次薄クナリシヲ第
三十二軍ハ尙相當ノ戦力ヲ蓄メ置キ戰血俵戰果獲得スルコトナレ
ルヲ以テ軍ハ成ルベク敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ全敵ノ戦局ニ寄與スル
爲メ特攻兵力ノ蓄積、整備ヲ俟テ總攻撃ヲ行フコトトシ五月十一日海
軍ト共ニ停攻約四〇機ヲ以テ第七次總攻撃ヲ實施セリ

第七次總攻撃後軍ハ第八次總攻撃ヲ概ネ一週後ト豫定シ之ガ準備
中ニ在リ

第五日及十四日敵機動部隊ハ九州及四國方面ニ來襲シ十
四日及十五日敵機動部隊ハ九州及四國方面ニ來襲シ十

軍機秘録ト英侯ノ海軍ノ活動意ノ無クナラセシメ、
可偵特機三機ヲ出動セシメ飛行第二戦隊誘導ノ下ニ敵空母ヲ求
メテ攻撃セシメ概本成務セリ又艦隊ヲ以テ國分、鹿屋等海軍飛行
場上空ヲ制空シ海軍機ノ出撃ヲ擁護セリ

第五 義號作戰及第八次總攻撃

一 作戰準備

ノ軍ハ五月上旬沖繩敵航空基地ニ對スル義號作戰ノ準備ヲ命ゼラル
ルヤ直チニ之ガ實行計畫ヲ研究策定スルト共ニ新ニ本作戰ノ爲指
揮下ニ入ラシメラレタル義烈空挺隊ヲ熊本ニ招致シ且第三獨立飛
行隊ハ其ノ根據地タル濱松ニ於テ飛行機ノ整備ヲ行ハシメ又關係
部隊ヲシテ所要ノ作戰準備ヲ行ハシメタリ

2 義號作戰ヲ中核トスル第八次總攻撃計畫ハ海軍ト協定シ大要次ノ
如ク策定シ之ヲ中央部ニモ報告セリ

「作戰方針」

義號部隊ヲ以テ沖繩(北)、(中)兩飛行場ニ挺進シ敵航空基地ヲ制壓シ
其ノ機ニ乘ジ陸海軍航空兵力ヲ以テ沖繩附近敵艦船ニ對シ總攻撃
ヲ實施ス

「作戰指導要領」

- (イ) 義號部隊ハX日没頃(一九二〇頃)熊本ヲ出發シ列島線西側
ヲ前進シ沖繩本島北方海面ニ出テ超低空飛行ヲ以テ概本二三二
〇頃主力(八機)ヲ以テ沖繩(北)飛行場、一部(四機)ヲ以テ沖
繩(中)飛行場ニ強行著陸ス
- 前進間ハ危急ノ場合ノ外無線ヲ封止ス
- (ロ) 義號部隊強行著陸ニ成功セバ直ニ所在敵機並ニ集積軍需品、施
設ヲ爆碎シ且能ク限リ飛行場附近ニ存在シテ敵ノ飛行場使用ヲ
妨害ス

第三獨立飛行隊空中勤務者ハ著陸ト共ニ義烈空挺隊長奥山大尉
ノ指揮下ニ入ラシム

ノ兵力60六機、八機ニテ重轟隊ノ作戦可能ノ全力ナリ、
 發セントスルヤ突如海軍ヨリ沖總附近天候不良ニシテ海軍ハ出
 動ヲ見合ハス旨ノ通報アリ茲ニ於テ軍令官ハ執行ヲ一日延擱
 五乃至六ニシテ攻撃ニハ左程障害トナラサルモノト判断セテ
 行ニ移リタルモノニシテ海軍ノ天候不良トスル根據ハ在り
 軍根據地隊ヨリノ電報ニ在り
 我々重轟隊ハ既に奄美島北西方面ニ駐留中ニシテ
 成功候ナントノ即決ヲ要スルモノトナリキ
 茲ニ二十四日計畫ヲ加テ攻撃作戦ヲ執行セルガ海軍ハ同日午後
 機動部隊ヲ抽退セリ

爲ノ海軍機ノ出動ハ實際ニ於テハ殆ドナク軍ハ單獨ニテ襲撃作
 戦ヲ實施セザルベカラザル狀況トナリタルモ軍ハ豫メ斯ノ如キ
 情況ヲモ豫想シテ襲撃作戦實施計畫ヲ樹立シアリシヲ以テ大サ
 ル影響ヲ蒙ルコトナク作戦實行ニ移リ得タリ
 重轟隊ハ豫定ノ如ク沖總(北)、(中)兩飛行場ヲ、第五航空軍ハ伊
 島飛行場ヲ夫々襲撃シ義烈空襲隊ハ豫定時刻強行着陸ヲ實
 行セリ、但シ内一機ハ發動機故障ノ爲引返シ限ノ庄ニ着陸未遂
 又他ノ三機ハ主力トシテ夫々沖總ノ線路上ニ飛来シ着陸
 遂ニ其ノ以テ強行着陸ヲ行ハズハ八機ニシテ(北)飛行場六機
 (中)飛行場二機トシテ(中)飛行場ニ着陸シ其ノ在
 在時間中北飛着場ニ四機、東飛行場ニ二機ノ赤信號燈著陸成功
 ノ示ス信號ノ點ナル狀況ニテ着陸シテ歸還セリ
 斯クテ義烈空襲隊ハ所在ノ線路上、線路上、導線品等ニ對シ攻撃ヲ

直リナリキ

我軍ハ海軍航空隊ノ命令ニ基キ依然沖繩方面ニ對スル作戰ヲ遂行スル
コトトセルモ第八次總攻撃實施前第三十二軍ヨリ再び緊急軍需品兵
器、戰鬥資材、通信器材等ノ空中補給方要請アリタルヲ義疏作戰
實施後ニ行フコトトナシアリタルヲ以テ先ツ重爆ニ依ル右物料投下
ヲ五月二十八日夜實施セルモ天候ノ爲不成功トナレリ

爾後之カ復行ニ努メタルモ南西諸島方面ノ機雨期ニ依ル惡天ノ爲日
的ヲ避シタルス六月十日ニ至リ第三十二軍ノ運命切迫シアルヲ鑑取シ
沖繩本島南部ノ我カ戰線内ニ強行着陸ヲ敢行シテ軍需品ヲ補給セン
トシ十六日重爆四機ヲ以テ出發セルモ不成功ニ終リタリ

三、一方沖繩方面ノ敵艦船ニ對スル攻撃ハ聯合艦隊ノ指揮下ヨリ艦隊
ル以後ハ總攻撃ノ形式ヲ止メ天候ト我カ兵力トニ鑑キ好機攻撃ヲ行
フコトトシ之カ實施ハ第三攻隊集團長ニ一任セリ
同集團ハ右ニ基キ六月三日、四日、六日、七日、八日夫々攻撃ヲ行

ヘリ、本攻撃ハ準備ノ餘裕アリ且第三攻隊集團ハ種々工夫ヲ重ネテ
實施セルヲ以テ各特攻隊ノ突入狀況ハ良好ナリキ

爾後沖繩方面戰況ト我カ特攻兵力トニ依リ攻撃ヲ保留スルニ至レリ
與沖繩方面航空基地ノ制壓ハ軍トシテハ其ノ必要ヲ如實ニ感ジアル
ヲ以テ本格的差地攻撃ヲ行フ爲先ツ消耗セル重爆隊ノ戦力充實ヲ急
務トシ飛行機ノ補充ト共ニ重爆兩戰隊ノ技術十分ナラザルモノヲ滿

洲ニ於テ訓練セシムルコトトシ一方差地攻撃法ノ研究ヲ進メタリ
五、斯クテ六月二十日ニ至ルヤ第三十二軍司令官ノ最後ノ決別ノ電報ヲ
受領シ茲ニ敵ノ沖繩方面進攻以來八十五日間ニ亘ル軍ノ第三十二軍
ニ對スル協力ハ終末ヲ告タルニ至リ天變作戰ニ於ケル軍ノ擔任セル
主要ナル作戰ハ一段落トナリタリ

(終)

